

# 積 寒 協 ニ ュ ー ス

**全国積雪寒冷地帯振興協議会会長（泉田新潟県知事）が、民主党豪雪対策議員連盟総会に出席し、豪雪地帯の現状について説明のうえ、雪寒地帯対策関係の要望を行いました。**

2月3日（月）14時から参議院議員会館において、民主党豪雪対策議員連盟（会長：田中直紀参議院議員）の総会が開催されました。



（総会の冒頭にあいさつする田中直紀参議院議員  
隣は、徳永エリ参議院議員）

総会には、議連側からの要請により、全国積雪寒冷地帯振興協議会会長の泉田新潟県知事も出席しました。

冒頭に、議連の田中会長があいさつし、当協議会が昨年6月に実施した平成26年度政府予算に関する雪寒地帯対策関係要望を踏まえ、一層充実した豪雪地帯対策が推進されるよう呼び掛けました。

続いて、気象庁から現在の気象状況や今後の雪の見通しについて説明が行われた後、泉田会長が、今冬の降積雪の状況

や雪による被害状況等についての説明を行うとともに、道路除雪費に係る国庫支出金が十分に配分されていない現状を説明し、高齢者をはじめとした地域住民が安心して生活できるよう、国庫支出金の総額確保に向けた協力を要請しました。

その後、国土交通省から、豪雪地帯対策基本計画（第6次）の主な追加・変更事項への対応状況や、雪氷冷熱エネルギー利用についての取組状況等について説明が行われました。

総会の閉会にあたって、徳永エリ事務局長から、今後も豪雪地帯対策についてしっかり意見交換していきたいとお話がありました。



（豪雪地帯の現状について説明する泉田会長）